

令和6年度地域学校協働活動推進員パワーアップ講座①実施報告

実施日：令和6（2024）年11月20日

◎ 当研修では、社会に開かれた教育課程を実現するために、地域と学校をつなぐ要となる統括的な地域学校協働活動推進員として期待される役割について理解し、地域学校協働活動の推進に必要な知識や技術の習得を図ります。第1回は、14名の方が参加くださいました。

○ 説明「統括的な地域学校協働活動推進員に期待される役割とは」 県生涯学習課職員

「期待される役割」について、地域学校協働活動推進員のリーダー的存在として、それぞれの推進員間の連絡調整、推進員の育成、人材の発掘・確保、等多岐に渡っていることが示されました。また、社会に開かれた教育課程の実現に向け、社会の状況に幅広く関心をもつことが大切であることも示されました。統括的な地域学校協働活動推進員としてどのような取組をしていけばよいのか、明確になりました。



○ 事例発表「那須町における統括的コーディネーターの動きについて」 那須町教育委員会生涯学習課 副主幹兼社会教育主事 高久 修 氏

那須町のコミュニティ・スクールの仕組みや実際の活動の様子を紹介していただきました。町内のコーディネーターとの連携のためにLINEでグループを作成したり、面談を行って日頃の活動を労ったりと、高久氏がコーディネーターのまとめ役として取り組んでいることについて具体的な説明がありました。LINEグループにより、コーディネーター同士の横のつながりを作り、情報や人材の共有を行っている点に興味をもち、聞き入っている受講者の様子が見られました。



○ 情報交換・協議「日頃の活動や課題について話し合おう」

最初に自己紹介を行い、前半の説明・事例発表での新たな気づきや再確認したことについてグループ協議を行いました。その後、自身の活動の振り返りとして実際に取り組んでいる活動をまとめ、グループごとに共有しました。連携・協働の体制づくりや取組の概要などについて、他地域での実践を知ることで、自身の活動の方向性を確認したり、今後の活動の参考にしたりすることができたようです。

★ 受講者の声 ★

- ・那珂川町、那須町のLINEによるネットワークはとても良いと思いました。
- ・他自治体での取組に「すごい！」の言葉ばかりです。全てまねすることはできなくとも、今地域や学校で行われている活動に連携、協力していくことから始めたいです。
- ・今年度初めて、このような研修に参加させていただきました。普段の活動の「答え合わせ」のような研修でした。
- ・まず動くこと、学校の負担にならないようにすることが大切だと感じました。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp